

令和5年度第2回三鷹市商工振興対策審議会 会議録

- 開催日：令和6年2月13日（火）午後7時から午後8時40分まで
- 会場：三鷹市教育センター2階 第二中研修室
- 出席委員：沖野委員、斎藤委員、大西委員、池島委員、額田委員、
遠藤委員、羽田野委員、矢田部委員、岩崎委員、
吉田委員、川崎委員、北委員、荒井委員、関口委員、
大倉委員、太田委員、岩見委員、中泉委員、大城委員
- 傍聴者：なし

1 開会

【出席状況の確認】

・委員定数20名中19名の出席をもって、過半数を超えているため、三鷹市商工振興対策審議会条例第6条第2項に基づき会議は成立。

【会議の公開及び傍聴人の決定について】

・三鷹市市民会議、審議会等の会議の公開に関する条例第6条に基づき、会議開催の事前公表を令和6年2月1日よりホームページにて実施し、2月7日午後5時まで傍聴希望者を募集した。

・傍聴希望者なし。

【会長挨拶】

・池島会長より挨拶

【会議録について】

・三鷹市市民会議、審議会等の会議の公開に関する条例第9条、第10条に基づき会議録を作成し、決裁後閲覧に供する。

【会議録署名人の指名】

・会議録署名人の指名は、選出区分ごとに名簿順から指名する。

「学識経験者」選出区分から 遠藤委員

「業界の代表者」選出区分から 川崎委員

2 議事

【(1) 意見交換 第5次三鷹市基本計画(1次案)について】

[委員]

・都市観光について、太宰治にゆかりがある三鷹駅の跨線橋の維持が出来なかったことについて残念に思う。市として何か対処できなかったか。

[事務局]

・安全上の面で費用がかかることが課題だった。一部、現物保存の方向で検討している。デジタル技術を活用した保存等新たな取り組みも検討しており、観光につなげていきたい。

[委員]

・三鷹の良さは、住んで触れてみないと分かりづらい。井の頭公園が三鷹市だと知らなかったが、もったいないことだと思う。商店会ごとに特色があり、知ることができ良かったが、取り組みが継承されていない。他市から来た人が地域の商店会に触れ合えるような取り組みがあるとよい。

・商工まつりを市役所だけでなく、井の頭公園等でも開催するなど、吉祥寺に来る人にもアピールできるとよい。

・市から支援の強化について様々な施策の説明があるが、支援を受けた団体などから、その支援の結果の報告があるとよい。

・本審議会などに、市民の代表として大学生や高校生など、お店に来てほしい人を選ぶのも新しい方法だと思う。

[事務局]

・まだまだPR不足であり、PRのツールを検討し、情報が届くための方法については工夫が必要だと感じている。賑わいづくりについても、市民は三鷹ならではの良さを求めていることを実感している。単純にセールなどだけではなく、質を重視したPRなど、伝える工夫が必要と感じている。

・審議会に若い人が参加することについては、候補者リストには入っているが、ランダムに依頼する仕組みであるため、故意に排除しているわけではない。ただ、審議会の場面以外でも若い人の意見を反映できるよう観光協会の活動の中に大学生が入っていたり、協働センターなどの市民活動や、商工会の青年部など若い人が集う場面を作ったりすることが、商業振興にしても、観光振興にしても重要になってきている。外に対するアピールが十分ではない点については、市民の皆さんと一緒に磨き上げていくことが重要と感じている。

[委員]

・市内事業者の9割が個人事業主で、10年前まではPRにお金がかかるため手が出なかった。SNSが普及し、中小・小規模事業者にもPRができるようになった。情報発信について市と商工会と連携して実施している、ミタカビトという取り組みを去年からスタートした。市内で頑張る事業者を学生などが取材し、インスタグラムで発信する取り組みであり、やっとスタートラインに立った状況。個性や強みを磨いていくため、商工会ではブランディングを含めた講座も実施している。

[委員]

・商工まつり等のイベントが商売にどう繋がっていくのかが課題だと感じている。

参加者にアンケートを取り問題点を集約し、大学生や中小企業診断士などがサイドから伴走して支援をする必要があると感じている。

三鷹駅前商店では様々な取り組みをしている。観光して、買い物をして、祭りにも参加する、といった周遊につながるような施策を、これから10年力を入れていくことが重要だと感じる。

[委員]

・商工まつりは現場でアンケートを取っているが、回答数を集めることに苦労している。

また、商工ニュースは通常会員向けに配布しているが、新年号と商工祭り特別号は全戸配布(約8万部)し、QRコードで回答できるアンケートを実施している。

・アンケートの内容について専門家にご指導いただきたい。

[委員]

・中学生や高校生など、子供たちを巻き込んだ検討ができると、その親なども興味を持ってもらえる有効な取り組みとなると思う。

[委員]

・KPIについて、市内の商店会の会員数や事業者数ではなく、市内商店会数としたのはなぜか?増加を目指すのか?

・以前行ったアンケート調査結果で、事業を続けたいという事業者が意外と多かった。事業再構築の支援策を必要としているが、計画では見えてこないもので、検討してほしい。

・商店会の支援強化策の新規出店者への支援について、商店会の会員になることを前提としたような支援策を検討してほしい。

[事務局]

・第4次三鷹市基本計画においては商店数を目標指標に設定して、5年に1度公表される経済センサスのデータにより検証してきたが、計画期間が4年間と短くなり、経済センサ

スでは検証ができなくなることから、商店会数を KPI として設定した。

商店会によっては発展的合併を検討している所もあると聞いているが、商店会が残っていけるよう、維持していきたい。

- ・事業再構築については、産業振興計画の中で取り組みを明示したい。
- ・商店会区域内の新規出店者の支援について、商店会の高齢化が進む中で、若い人たちの新規出店の支援が必要と考えている。その際には商店会にも加入し、商店会の盛り上げにつなげられるよう進めていきたい。

[委員]

- ・創業者の実態、支援事業の種類、支援内容を具体的に教えてほしい。

[事務局]

- ・創業支援については、まちづくり三鷹や商工会と連携して実施している。市では創業支援マップを作成し周知に努めている。

[まちづくり三鷹]

- ・三鷹産業プラザはインキュベーション施設を持っており、創業の実態としては士業の方が多い印象。また、三鷹駅前に SOHO パイロットオフィスがあり、当初は IT 系の事業者が多かったが、現在は士業の方が増えてきており、多様化している。

[事務局]

三鷹産業プラザの南側の 1 期棟については市が購入し、まちづくり三鷹と一緒に運用することとなった。施設を整備して、インキュベーションの核となるように運用していきたい。

[委員]

- ・デジタルトランスフォーメーションについては、今後は大企業だけでなく中小企業、個人事業主も推進していかなければいけない。どのように支援していくかが重要であるため、計画に入れてはどうか。
- ・観光の観点から、これまでは静止画による発信だったが、最近は動画を使ったコンテンツが充実し、多くの個人が発信している。動画のコンテンツを観光振興に活用していくとよい。
- ・生成 AI が、今後ソフトウェア構築やデータ学習等に活用されていくだろうと考える。動画と DX とデータについて、今後注目されるのではないか。

[委員]

・三鷹産業プラザがどのような活動をしているのか、一般市民には分かりにくい。市民に、活動内容や有効性を周知してほしい。

[委員]

- ・市の制度融資を活用している事業者に対して景況感のデータを収集し、次の支援に繋げていくと、産業振興の KPI として旬な情報がわかる。
- ・三鷹市の事業者にはアニメ産業が多いことが特徴。観光に関して、アニメ産業をテーマにした取組を行えば一つの起爆剤として若い人が取り込めるのではないか。

[委員]

- ・関係機関との連携という言葉が計画に多く出ているが、連携は重要であり、今後どのように具体化していくかが肝心だと感じた。
- ・創業3年後の継続が大きな壁となる。創業後の事業計画の見直しが必要になり、支援をしていくことが大事である。
- ・事業者から、人材確保が厳しいということを多く聞く。中小企業支援については、働き方の支援と人材確保を繋げることが大事である。
- ・創立当初先進的な施設であった三鷹産業プラザの、今後の事業展開について期待している。

【(2) その他 関係団体からの報告】

<三鷹商工会>

- ・「三鷹でちょい呑みハシゴ酒」について

<まちづくり三鷹>

- ・第20回みたかビジネスプランコンテストについて
- ・第28回三鷹まちづくりフォトコンテスト応募状況報告について
- ・Poki 4 コマまんがコンテスト 2023 入賞作品展について

<みたか都市観光協会>

- ・みたか都市観光協会設立15周年記念事業について
- ・Have fun in MITAKA! について

【事務局より】

- ・次回開催は令和6年夏頃を予定している。
- ・現委員の任期は令和6年7月20日までのため、今期の本審議会は、今回が最後となる予定である。

3 閉会